第1講

字が上手な人はいいよね ー書道はいかにして日本に定着したのかー (2020年度第1問)

次の(1)~(5)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。

- (1) 『千字文』は6世紀前半に、初学の教科書として、書聖と称された王義之の筆跡を集め、千字の漢字を四字句に綴ったものと言われる。習字の手本としても利用され、『古事記』によれば、百済から『論語』とともに倭国に伝えられたという。
- (2) 唐の皇帝太宗は、王羲之の書を好み、模本(複製)をたくさん作らせた。遣唐使はそれらを下賜され、持ち帰ったと推測される。
- (3) 大宝令では、中央に大学、地方に国学が置かれ、『論語』が共通の教科書とされていた。大学寮には書博士が置かれ、書学生もいた。長屋王家にも「書法模人」という書の手本を模写する人が存在したらしい。天平年間には国家事業としての写経所が設立され、多くの写経生が仏典の書写に従事していた。
- (4) 律令国家は6年に1回、戸籍を国府で3通作成した。また地方から貢納される調は、 郡家で郡司らが計帳などと照合し、貢進者・品名・量などを墨書した木簡がくくり付け られて、都に送られた。
- (5) 756年に聖武天皇の遺愛の品を東大寺大仏に奉献した宝物目録には、王義之の真筆や手本があったと記されている。光明皇后が王羲之の書を模写したという「楽毅論」も正倉院に伝来している。平安時代の初めに留学した空海・橘逸勢も唐代の書を通して王羲之の書法を学んだという。

設問

- A 中央の都城や地方の官衙から出土する8世紀の木簡には、『千字文』や『論語』の文章 の一部が多くみられる。その理由を2行(60字)以内で述べなさい。
- B 中国大陸から毛筆による書が日本列島に伝えられ、定着していく。その過程において、 唐を中心とした東アジアの中で、律令国家や天皇家が果たした役割を4行(120字)以内 で述べなさい。

解いてみましょう(第1講)Aについて

1 問われている (求められている	る) ことを確認する。	
ア (7) 世紀の (1)	(ウ)	の一部が
書かれている理由を書く。		
イ そのような (1)	は, (I)	から出土する
ことを踏まえて書く。		
ウ 2行 (60字) 以内で書く。		
(I)	から出土する (7) 世紀の	(1)
(ウ)	の一部が書かれている理由を書く。	
9行(60字)以内で書く		

2 資料と教科書(山川出版社『詳説日本史B』)の内容とを照らし合わせる。 関係する教科書のページと内容は、

	•	
教科書の		
	\bigcirc	
教科書の		
	\Diamond	
教科書の		
		J

3 与えられた資料と教科書の記述をもとに作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。

東大チャート「発掘された木簡に千字文や論語が書かれていた理由」(2020年度第1問設問A) (へ、抜き出して入れる)

【教科書の記述】

律令国家では、民衆は戸主を代表者とする戸に所属する形で戸籍・計帳に登録され、50戸で1里が構成されるように里が編成された。この戸を単位として口分田が班給され、租税が課せられた。(PP. 43. L 1 ~ 4)

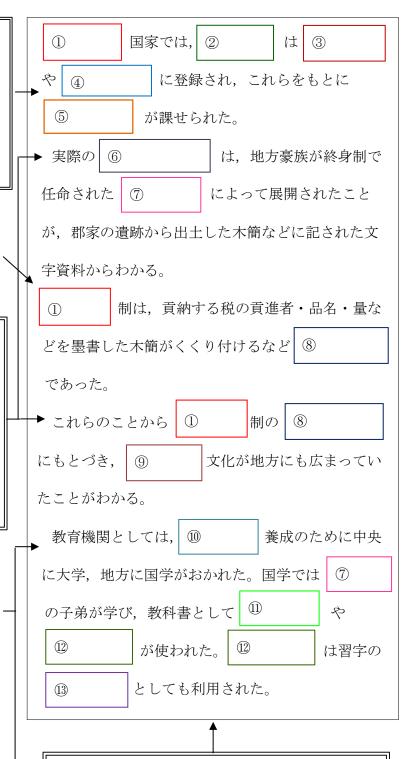
(4) <u>律令国家</u>は6年に1回,戸籍を 国府で3通作成した。また地方か ら貢納される調は,郡家で郡司ら が計帳などと照合し,<u>貢進者・品</u> 名・量などを墨書した木簡がくく り付けられて,都に送られた。

【教科書の記述】

任期のある国司と違って伝統的な地方豪族が終身制で任命された郡司により、実際の民衆支配が展開したと思われる。郡家の遺跡からも木簡・墨書土器などの文字資料が出土し、律令制の文書主義にもとづき漢字文化が地方にも展開した様子が知られる。

(PP. 48. L 1 \sim 4)

- (3) 大宝令では、中央に大学、地方に国学が置かれ、『論語』が共通の教科書とされていた。大学寮には書博士が置かれ、書学生もいた。長屋王家にも「書法模人」という書の手本を模写する人が存在したらしい。天平年間には国家事業としての写経所が設立され、多くの写経生が仏典の書写に従事していた。
- (1) 『千字文』は6世紀前半に、初学の教科書として、書聖と称された王義之(おうぎし)の筆跡を集め、千字の漢字を四字句に綴ったものと言われる。習字の手本としても利用され、『古事記』によれば、百済から『論語』とともに倭国に伝えられたという。



【教科書の記述】

教育機関としては、官吏養成のために中央に大学、地方に国学がおかれた。入学者は、大学の場合は貴族の子弟や朝廷に文筆で仕えてきた人びとの子弟、国学の場合は郡司の子弟らを優先した。(P. 56. L 5~10)

抜き出したものをまとめる

※ (4) には「決めぜりふ」を考えて入れる。
① 制では、③ ・ ④ をもとに ⑥ を行い、
⑤ を課した。また、貢納する税の貢進者・品名・量などを墨書した木簡がくくり付
けるなど ① 制は、 [®] であったため ^⑩ は
9 に (9) を (9) </td
た。そのため ⑦ などの ⑩ を養成するための教育機関として設け
られた大学や国学では ⑪ や ⑫ が教科書とされ、⑫
は習字の ③ にもなった。
\bigcirc
4 60 字に要約する。

解いてみましょう(第1講) Bについて

1 問われている(求められている)ことを確認する。

 ア (ア)
 が (イ)
 していく (ウ)

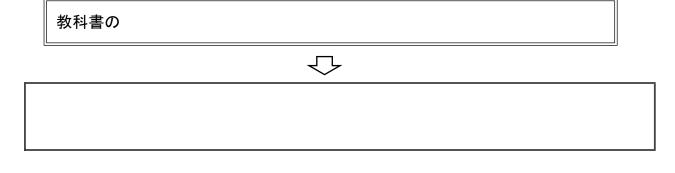
 において、(エ)
 や (オ)
 が (カ)

ついて書く。

イ (キ) を中心とした (ク) の視点で書く。

ウ 4行(120字)以内で書く。

2 資料と教科書の内容とを照らし合わせる。 関係する教科書のページと内容は、



教科書の

₹

書

3 与えられた資料と教科書の記述から抜き出して作成した「東大チャート」を解く。

次のページに「東大チャート」があります。上記の「関連する教科書のページと内容」からの抜粋も記されています。

(2) <u>唐</u>の皇帝太宗は、王羲之の書を好 み、模本(複製) をたくさん作らせ た。<u>遺唐使</u>はそれらを下賜され、持ち 帰ったと推測される。

イ 唐を中心とした東アジアの視点で -

【教科書の記述】

書く。

遣唐使たちは、唐から先進的な政治 制度や国際的な文化をもたらし、日本 に大きな影響を与えた。(P. 44. L21~ 23)

(5) 756年に聖武天皇の遺愛の品を東大 寺大仏に奉献した宝物目録には、王義 之の真筆や手本があったと記されてい る。光明皇后が王羲之の書を模写した という「楽毅論」も正倉院に伝来して いる。平安時代の初めに留学した空 海・橘逸勢も唐代の書を通して王羲之 の書法を学んだという。

【教科書の記述】

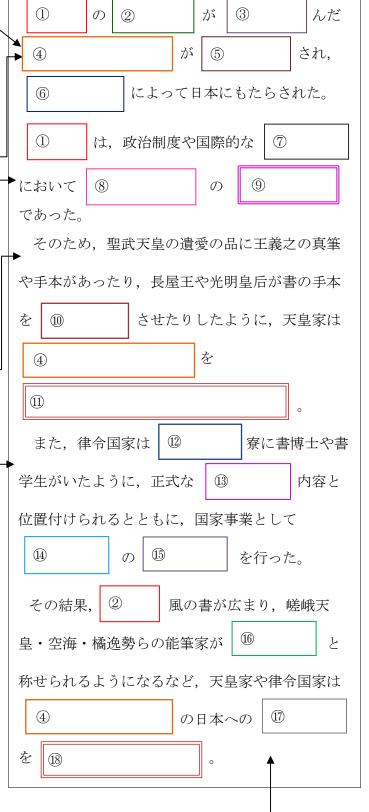
教育機関としては、官吏養成のために 中央に大学、地方に国学がおかれた。 (P. 56. L 5 ~ 7)

(3) 大宝令では、中央に大学、地方に国学が置かれ、『論語』が共通の教科書とされていた。大学寮には書博士が置かれ、書学生もいた。長屋王家にも「書法模人」という書の手本を模写する人が存在したらしい。天平年間には国家事業としての写経所が設立され、多くの写経生が仏典の書写に従事していた。

【教科書の記述】

書道では、<u>唐</u>風の書が広まり、嵯峨天皇・空海・橘逸勢らの能書家が出て、 のちに三筆と称せられた。

 $(P. 67. L 6 \sim 7)$



抜き出	1,1= #	このな	丰上	める
JXСШ	\mathcal{O}/\mathcal{L}	שינטנ	\cdot	עם עש

① の② が③ んだ④ が
⑤ され,⑥ によって日本にもたらされた。① は,政
治制度や国際的な ⑦ において 8 の 9 であっ
たため、天皇家もこれを ③ んで、書の手本の ⑩ をさせるなど
① また、律令国家は④ を
① の正式な ① 内容と位置付けるとともに、国家事業として
(4) の (5) を行った。その結果、嵯峨天皇・空海・橘逸勢らの能筆
家が 16 と称せられるようになるなど、天皇家や律令国家は ④
の日本への _団 を ® 。
4 120 字に要約する。
JEN 1-5ME C/ST VEC CS 707CCC